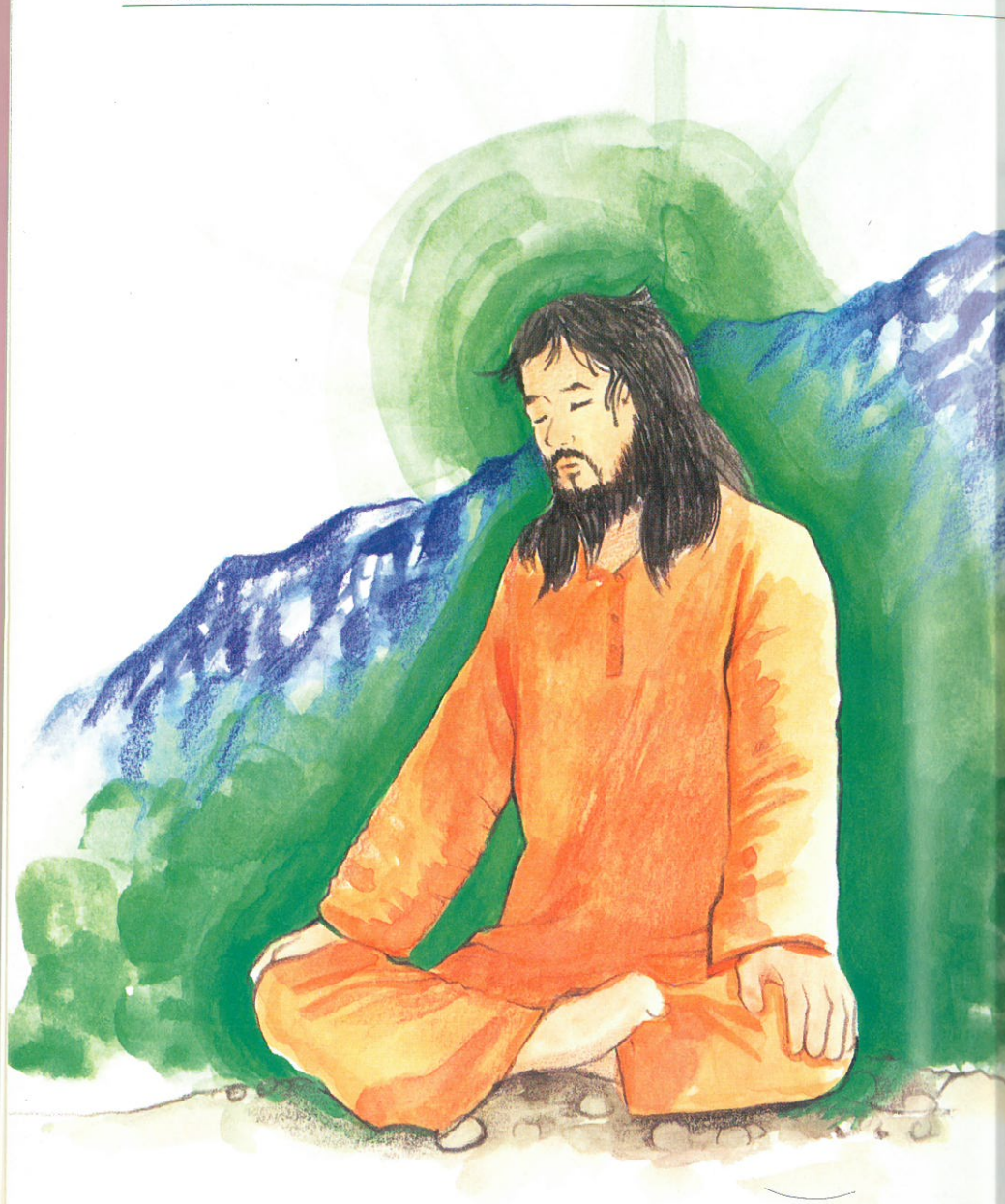




緑

緑は妥協

GREEN

●光を放つ透明な緑——偉人の条件

オウム真理教には極厳修行きよくげんしゆぎょうというものがある。これは各段階の成就、つまり決められた各段階の条件をクリアさせるために行なわれるものである。

例えば、クンダリニー・ヨーガの成就の判定基準は、次の四つの体験である。

①意識の連続

これは、二十四時間途切れることのない意識を持続けることの達成である。

② 光への没入

これはわたしたちの身体に存在している三つの気道の浄化の度合いを計る基準として設けられたもので、黄金色、白銀色、ブルーの三つの光に没入することである。

③ 化身の体験

これは五法身の体験ともいわれ、へそから抜け出す変化身の体験、胸から抜け出す法身の体験、喉から抜け出す報身の体験、眉間から抜け出す本性身の体験、頭頂から抜け出す金剛身の体験である。

④ 空中浮揚

これは、ダルドリー・シッディと呼ばれるカエル跳びではなく、究竟と呼ばれる瞑想中に身体のエネルギーが頭頂に集まり、無意識のうちに体が持ち上がるというものである。

これら四つの体験の中で、全体を通していえることは、いずれも光を放つ透明な緑のエネルギーが、この神秘的力の土台となっているということである。

オウム真理教において睡眠時間を取ることは恥とされている。もともと仏典の教えの中でも、睡眠はわたしたちの無明の現われであるとして、五つの障害に数えられている。つまり、わたしたちの本質を覆い隠している要素の一つなのである。そして、それを取り払うためのエネルギーこそが輝く透明な緑なのである。

ナポレオンが一日三時間の睡眠であったことをわたしは高校時代、世界史の授業で学んだことがある。そのときわたしは眠ることが好きで、

(三時間の睡眠で体が大丈夫なんだろうか)
とよく考えたものだ。

しかし、今わたしの弟子の中で、三時間以内の睡眠で、バリバリ修行とワークに励んでいる弟子は、ざらにいるのである。

それもすべて、この光を放つ透明な緑の力なのである。ところで、この光を放つ透明な緑を好み、また、その



バルドー（ここでは、カルマの状態を投影している光）を持つ人は修行者以外存在しない。しかも、このタイプの修行者はあまりいないので、それを見つけることは至難の技であろう。

しかし、もし、このタイプの修行者と恋愛ができ、結婚することができるようになったなら、その人は大変幸せな運命を得たといえることができる。

なぜならば、この光と色は、すべての願望を達成する源であり、その人のそばにいただけでも大きな変化が起こるし、それより深い関係、性的な交わりなど持とうものなら、肉体のけがれは浄化され、心の内に高い世界へ至るための種子を植えつけられることとなるからである。

また、この光を放つ透明な緑は、アモガシッディ（不空成就如来）と呼ばれる密教の真理勝者の象徴であるといふこともつけ加えておこう。



●光を放つ濁った緑——エネルギーシユ、しかし頭痛持ち

この光を放つ濁った緑は、強烈なエネルギーシユな活動力を表わし、また否定的であり、墮落した意識状態を表わす。

このタイプの人は、もともと大成功し、そして幸福になる可能性があるのだが、限界を試みるという習性が乏しく、特に努力という二文字については嫌悪の対象であり、全く無縁なことが多い。

したがって、この色を好む人と恋愛をすることは楽しいのだが、結婚する場合、相手の性格を完全に限界まで努力させるような教えの実践をさせない限り、幸福な結婚はあり得ないだろう。

ところで、この濁りは煩惱を表わし、特に性的な触覚における快感を貪る人に多い。また、この色を好む人は心変わりが早く、昨日泣いたり叫んだりしていたかと思

うと、今日はもう笑っているといったタイプである。

しかし、性格的根っこは大変深く、楽しいことや幸せな感覚はすぐに忘れるのだが、人生における暗い部分や、批判的なことは大変よく覚えている。そして、オートリバースのテープレコーダーのように、過去のわだかまりを一つのパターンにしたがってグチるのである。

したがって、このタイプとのつきあいにおいては、こちら側が相手のグチを受け流すだけの大きな度量と、長い時間をかけて性格を改善させる努力をたゆまずやり続けることのみが、恋愛や結婚における成功のただ一つの秘訣ということになる。

もし、この色を好むタイプの人が限界までの努力を始めたら、光を放つ透明な緑を好む人の状態になるのが早い。光を放つ透明な緑と、光を放つ濁った緑の違いは、限界まで努力することと、上昇志向が存在するかしないかである。つまり、光を放つ濁った緑は現状維持型なのである。したがって、この色を好む人の適職は、労働組

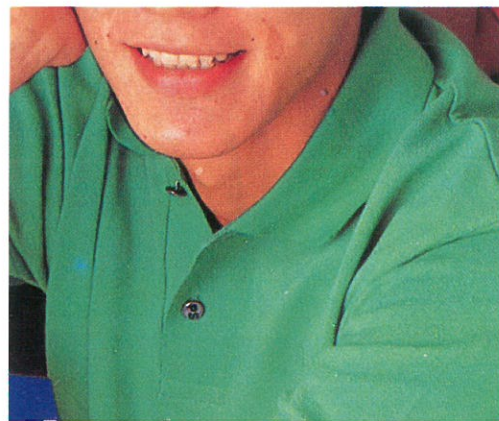
合のしっかりしている会社のサラリーマンということになるう。

● 暗い透明な緑——動物界の支配者の色

この暗くて透明な緑と、次に述べる暗くて濁った緑は、相反する二つの性格を表わしている。この暗くて透明な緑は、まさに妥協の色であり、強い者に巻かれ、弱い者をいじめるという動物界における強者の色である。つまり、決して自分より強い者が間違ったことを言ったとしても、心の中にその相手に対する批判の感情があったとしても、恐れという感情を背景に従うのである。

このように、この色を好む人は調子がよく、上の者につけ入るテクニクを身につけている。また、自分より弱い者を権力によって支配することを好む。したがって、恋愛にしろ結婚にしろ、要注意なのである。

つまり、自分より強い者の欲求はすべてのむタイプな



ので、その動物的性格ゆえに流されて、いろんな異性との交わり、あるいは浮気を平気で行なうことが多い。また、お金に対する計画性もなく、借金を増やすのもこのタイプである。

加えて、このタイプの異性は集中力がなく、智性も低く、特に論理的思考に弱く、数学が苦手である。したがって、セックス・フレンド程度の遊びならともかく、それ以上の深入りをすべきではない。

しかし、今、おつきあいしている相手がこの色を好むようならば、徐々にデータを入れ替え、少しずつ哲学的思索をさせる訓練をすべきである。

ただ、このタイプは動物と同じであるから、こちらがあまり強く出ると食ってかかるので、決して感情的にならず、論理的に淡々と話すべきである。

人間には、自分自身にないものを求めるとい性質がある。つまり、このタイプは落ち着いて淡々とした論理性を有する人を好むはずなので、その点に気をつけるなら性格改善もうまくいく可能性も高いであろう。

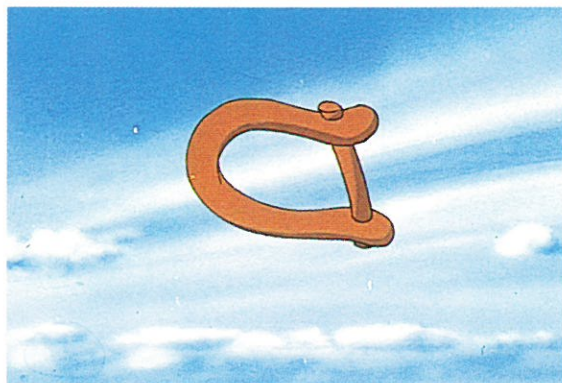
●暗く濁った緑——わたしは、なぜいじめられるの？

仏典では、今わたしたちが生活しているこの人間界へ生まれ変わることがいかに難しいかということが次のように説かれている。

【四八】第八 穴の空間（三）

二「向煩惱滅尽多学男たちよ、例として、この大いなる大地が一つの水であり、そこで男が一つの穴の空間のあるくびきを中に置くと、すぐに、東の風は西にかき集め、西の風は東にかき集め、北の風は南にかき集め、南の風は北にかき集めるとしよう。そこで、百の雨季の間ごとが経過してから一度ずつ浮き上がる、その盲目の亀がいるとしよう。

三 向煩惱滅尽多学男たちよ、これについてどう思う



か。そのとき同一に、その盲目の亀が百の雨季の間ごとが経過してから一度ずつ浮き上がり、まさにその一つの穴の空間のあるくびきに首を入れることがあるだろうか」と。

「尊師よ、その盲目の亀が百の雨季の間ごとが経過してから一度ずつ浮き上がり、まさにその一つの穴の空間のあるくびきに首を入れるということ、これは思いも寄らないことです」と。

四 「向煩惱滅尽多学男たちよ、このように、人の状態を得ること、これは思いも寄らないことである。向煩惱滅尽多学男たちよ、このように、供養^{くよう}・正覚^{しょうかく}者であられる真理勝者が世界に流転なさること、これは思いも寄らないことである。向煩惱滅尽多学男たちよ、このように、真理勝者が説き明かされた法則と修行が世界に顕著になること、これは思いも寄らないことである。

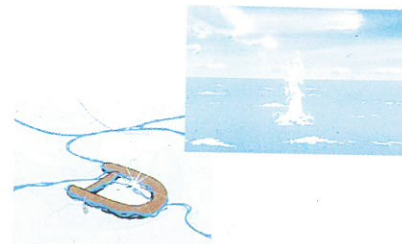
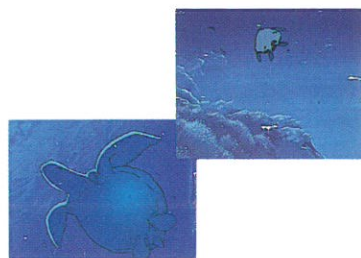
五 そして、彼にこの人間の状態が得られ、供養^{くよう}・

最上正覚者であられる真理勝者が世界に流転し、真理勝者が説き明かされた法則と修行が世界に顕著になっているのである。

六 向煩惱滅尽多学男たちよ、だから、『これは苦しみである』と専心すべきである。『これは苦しみの生起である』と専心すべきである。『これは苦しみの滅尽である』と専心すべきである。『これは苦しみの滅尽に至る方法である』と専心すべきである」と。

これはわたしたちの心の働きが現象に対して正しく見極めることができないゆえに、多くの苦しみの因をつくり、その苦しみの集積が三つの下位の生命体、つまり地獄、動物、餓鬼へと結びつけ、苦しみの因の結果である、苦しみを受けなければならなくなるからである。

ところで、仏典の教えにしたがって、わたしは在家の修行の一つとして、自分自身で手作りの食物を出家修行者



であるわたしの弟子たちに供養することを常としている。もちろんこのとき、わたしの弟子でもあり、娘でもあるシャクティ・ドウルガー、シャクティ・カーリー、ウマー・パールヴァティ・アーチャリー、識華たちも手伝いをしたり、彼女たち自ら食物を作ったりする。

これは、一九九一年の十一月、イーストを使ったパンを作って弟子たちに供養していたころの話である。

わたしも娘たちも、手にケガをしたり、ヤケドをしたり、あるいは殴られたりするのである。わたしはその原因の検討に入った。すると確かにパンを焼き、供養した後、バルドーが濁るのである。

これが原因だったのかと気づき、イーストを使ったパンから、ベーキング・パウダーを使ったパンに切り替えた。それと同時に、その現象は消えた。これは、明らかにイーストを殺生したために起きた現象だったのである。ところで、これと同じ現象が『旧約聖書』にあるので引用しよう。

【出エジプト記】

第二章

主はエジプトの国で、モーセとアロンに告げて言われた、「この月をあなたがたの初めの月とし、これを年の正月としなさい。あなたがたはイスラエルの全会衆に言いなさい、『この月の十日におのおの、その父の家ごとに小羊を取らなければならない。すなわち、一家族に小羊一頭を取らなければならない。もし家族が少なくて一頭の小羊を食べきれないときは、家のすぐ隣の人と共に、人数に従って一頭を取り、おのおの食べるところに応じて、小羊を見計らわなければならない。小羊は傷のないもので、一歳の雄でなければならない。羊またはやぎのうちから、これを取らなければならない。そしてこの月の十四日まで、これを守って置き、イスラエルの会衆はみな、夕暮にこれをほふり、その血を取り、小羊を食する家の入口の二つの柱と、かもいにそれを塗らなければならない。そしてそ



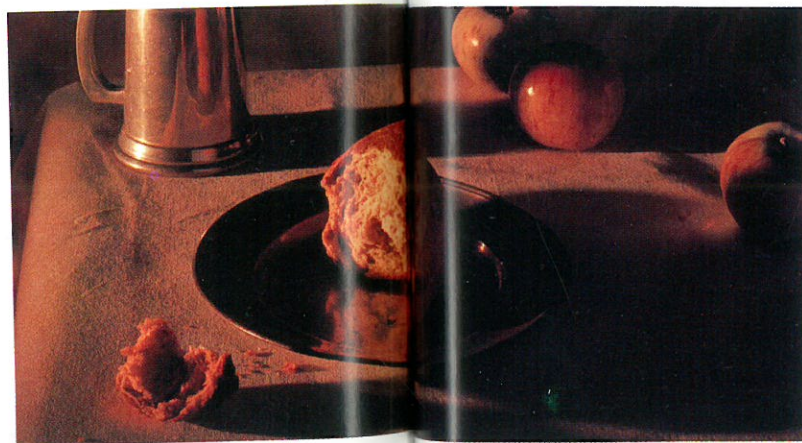
の夜、その肉を火に焼いて食べ、種入れぬパンと苦菜を添えて食べなければならない。生でも、水で煮ても、食べてはならない。火に焼いて、その頭を足と内臓と共に食べなければならない。朝までそれを残しておいてはならない。朝まで残るものは火で焼きつくさなければならない。あなたがたは、こうして、それを食べなければならぬ。すなわち腰を引きからげ、足にくつをはき、手につえを取って、急いでそれを食べなければならない。これは主の過越である。その夜わたしはエジプトの国を巡って、エジプトの国における人と獣との、すべてのういごを打ち、またエジプトのすべての神々に審判を行うであろう。わたしは主である。その血はあなたがたのおる家々で、あなたがたのために、しるしとなり、わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであろう。わたしがエジプトの国を撃つ時、災が臨んで、あなたがたを滅ぼすことはないであろう。



この日はあなたがたに記念となり、あなたがたは主の祭としてこれを守り、代々、永久の定めとしてこれを守らなければならない。七日の間あなたがたは種入れぬパンを食べなければならない。その初めの日に家からパン種を取り除かなければならない。第一日から第七日まで、種を入れたパンを食べる人はみなイスラエルから断たれるであろう。かつ、あなたがたは第一日に聖会を、また第七日に聖会を開かなければならない。これらの日には、なんの仕事もしてはならない。ただ、おのおのの食べものだけは作ることができる。あなたがたは、種入れぬパンの祭を守らなければならない。ちょうど、この日、わたしがあなたがたの軍勢をエジプトの国から導き出したからである。それゆえ、あなたがたは代々、永久の定めとして、その日を守らなければならない。正月に、その月の十四日の夕方に、あなたがたは種入れぬパンを食べ、その月の二十一日の夕方まで続けなければならない。七日の間、家にパン

種を置いてはならない。種を入れたものを食べる者は、寄留の他国人であれ、国に生れた者であれ、すべて、イスラエルの会衆から断たれるであろう。あなたがたは種を入れたものは何も食べてはならない。すべてあなたがたのすまいにおいて種入れぬパンを食べなければならない』。

そこでモーセはイスラエルの長老をみな呼び寄せて言った「あなたがたは急いで家族ごとに一つの小羊を取り、その過越の獣をほふらなければならない。また一束のヒソプを取って鉢の血に浸し、鉢の血を、かもしと入口の二つの柱につけなければならない。朝まであなたがたは、ひとりも家の戸の外に出てはならない。主が行き巡ってエジプトびとを撃たれるとき、かもしと入口の二つの柱にある血を見て、主はその入口を過ぎ越し、滅ぼす者が、あなたがたの家にはいって、撃つのを許されないであろう。あなたがたはこの事を、あなたと子孫のための定めとして、永久に守らなければ



ばならない。あなたがたは、主が約束されたように、あなたがたに賜わる地に至るとき、この儀式を守らなければならぬ。もし、あなたがたの子供たちが『この儀式はどんな意味ですか』と問うならば、あなたがたは言いなさい、『これは主の過越の犠牲である。エジプトびとを撃たれたとき、エジプトにいたイスラエルの人々の家を過ぎ越して、われわれの家を救われたのである』。民はこのとき、伏して礼拝した。

イスラエルの人々が行ってそのようにした。すなわち主がモーセとアロンに命じられたようにした。

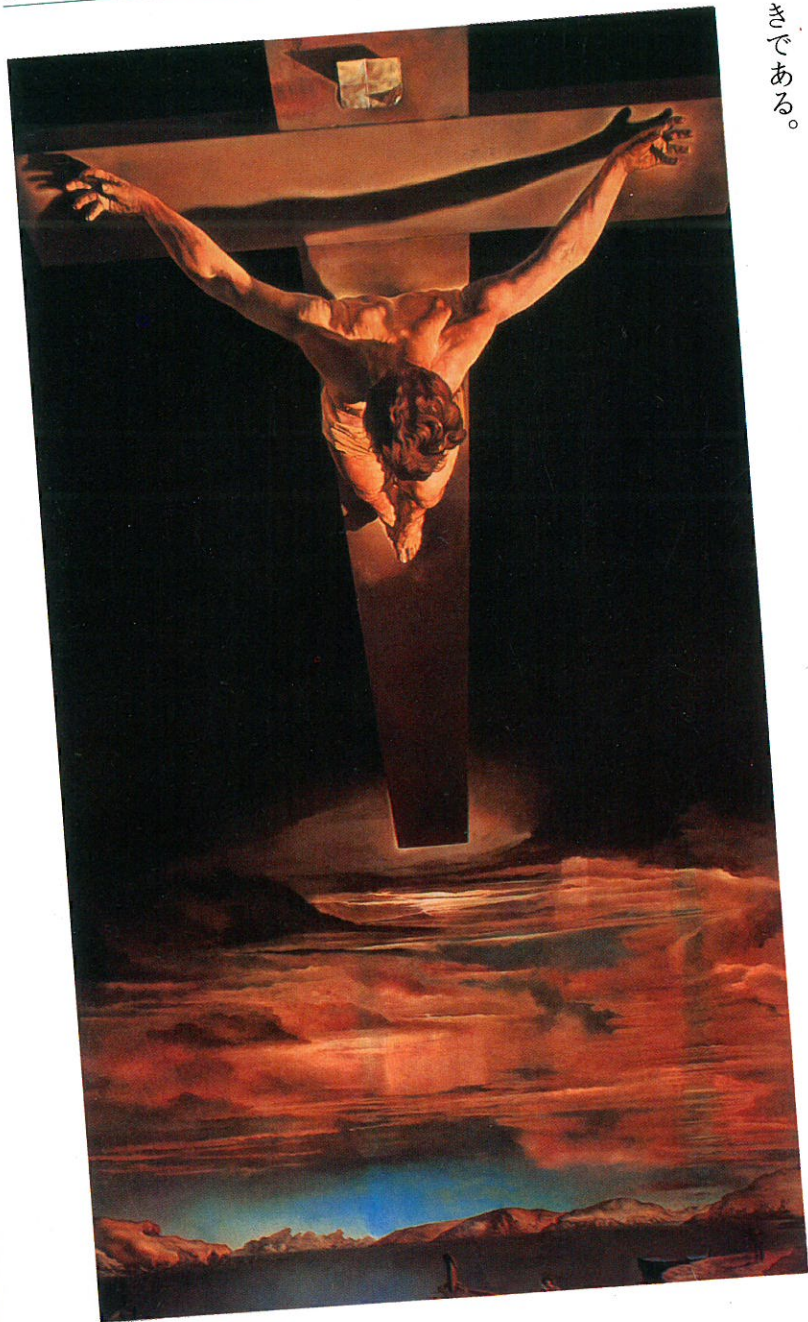
夜中になって主はエジプトの国の、すべてのういご、すなわち位に座するパロのういごから、地下のひとやにおる捕虜のういごにいたるまで、また、すべての家畜のういごを撃たれた。それでパロとその家来およびエジプトびとはみな夜のうちに起き上がり、エジプトに大いなる叫びがあった。死人のない家がなかったからである。そこでパロは夜のうちにモーセとアロンを



呼び寄せて言った、「あなたがたとイスラエルの人々は立って、わたしの民の中から出て行くがよい。そしてあなたがたの言うように、行って主に仕えなさい。あなたがたの言うように羊と牛とを取って行きなさい。また、わたしを祝福しなさい。」

こうしてエジプトびとは民をせき立てて、すみやかに国を去らせようとした。彼らは「われわれはみな死ぬ」と思ったからである。民はまだパン種を入れない練り粉を、こねばりのまま着物に包んで肩に負った。そしてイスラエルの人々はモーセの言葉のようにして、エジプトびとから銀の飾り、金の飾り、また衣服を請い求めた。主は民にエジプトびとの情を得させ、彼らの請い求めたものを与えさせられた。こうした彼らはエジプトびとのものを奪い取った。

さて、イスラエルの人々はラメセスを出立してスコテに向かった。女と子供を除いて徒歩の男子は約六十万であった。また多くの入り混じった群衆および羊、



を絶えず十字架のように背中に背負っている人であるから、特に恋愛をしたり、結婚を考えるとときには注意すべきである。

このように、これらの殺生をはじめとする悪業の集積の色が、この暗い濁った緑であり、その果報は痛み苦しみといった現象として表われる。つまり、わたしたちが社会通念として善であると思っている、ハエ、蚊など、小さな生き物たちの殺生も、それらを殺すと、しっかりとといじめられ、暴力を受けたりするという果報として返ってくるのである。

そして、濁った緑を好む人は、卑屈、苦しみ、妥協等

牛など非常に多くの家畜も彼らと共に上った。そして彼らはエジプトから携えて出た練り粉をもって、種入れぬパンの菓子焼いた。まだパン種を入れていなかったからである。それは彼らがエジプトから追い出されて滞ることができず、また、何の食糧をも整えていなかったからである。

(今日でもユダヤ人は無発酵パンに信仰を持っている
そうである)



青

ブルー、
それは執着の色

BLUE

●光を放つ透明なブルー

もともと光を放つ透明なブルーは、ヴァイローチャナ真理勝者（大日如来）の象徴的世界の色である。このヴァイローチャナ真理勝者が、五真理勝者の最高峰に位置し、空を表わすことを考えれば、この光こそ最高の光の一つであると断言できるだろう。

わたしの弟子たちを見ていると、この光り輝く透明なブルーを心の働きとして発する場合がある。このとき彼らの意識状態は帰依することに喜びを見いだしている――

つまり、三宝さんぼうに対して心から執着し、衆生済度に意欲を燃やしているのである。

同じように、光を放つ透明なブルーの衣服を好む人は、ナイーブであり、繊細で、内側の世界に対する欲求が強く、真面目で、かつ裏切らない人ということが出来るだろう。

一般的に光を放つ透明な色を好む人は、出家欲求というものがあるが、この光り輝く透明なブルーを好む人は、対象となるおつきあいしている異性のことをよく考え、相手を傷つけないようにしながら、出家の道に入っていくので、このタイプがあなたの恋愛相手であったとしても、あまり出家については気にする必要はないと思われる。

ところで、この光を放つ透明なブルーは、先程も述べたとおり、ヴァイローチャナの世界のシンボル・ライトであり、喉のチャクラと密接な関係がある。したがって、この色を好む人は、大変よく仕事ができ、部下を統率す

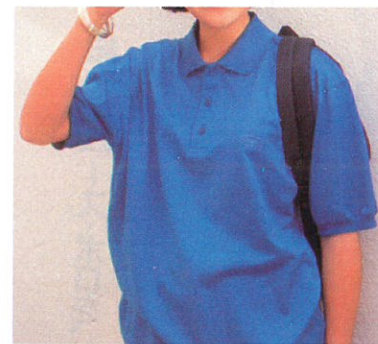
ることができるとともに、権力志向が強いことをつけ加えておこう。

●光を放つ濁ったブルー

もともとブルーといえば、ブルー・フィルムに象徴されるように、イメージ的性欲を表わす光である。これは、水元素＊Ⅱスヴァディスターナ・チャクラⅡ性のチャクラという密教的教えとも合致した考え方である。

この光を放つ濁ったブルーを好む人は、具体的に異性と交わることを好むわけではなく、あくまでも異性との恋愛交わりをイメージし、そのイメージの中で楽しむことを好む人が多いようである。

したがって、このタイプの人は、どの異性に対してもある程度やさしい。そして、このタイプの特徴は、自己のイメージで肯定される形状・容姿に特に引かれる。なぜなら、イメージの世界で遊ぶわけであるから、対象



は自己の審美眼にかなっていないからである。
わたしの弟子に、この光を放つ濁ったブルーを心の発する光の色として有している者がいた。彼は大変ハンサムで真面目であったが、絶えず美しい女性の影がつきまとっていた。

彼の様子を分析していると、異性と楽しくしゃべる、



ちよつと触れる程度の行為は行なうのだが、その一線からは決して踏み込まないことがわかった。これは彼の性的欲求は具体的ではなく、イメージ的、アストラル的であるからに他ならない。

したがって、このタイプの色を好む人とおつきあひする場合、対象となる異性はイメージに対するけがれは存在しているが、具体的にはやさしく、頼りになり、かつ

淡泊な人といふことができるだろう。だから、あなたが相手のムードを壊さないように努力すれば、とってもステキでムーディな恋愛、あるいは結婚生活が保証されるだろう。

●暗い透明なブルー

人の上から四番目のチャクラに、アナハタ・チャクラが存在する。このチャクラは、四つの偉大なる心の中の聖慈愛、および聖哀れみと密接な関係を持つ。

人がある特定の異性に執着し、その異性を独占することができない場合、初めは小さな悲しみから、次第に大きな悲しみへと移行してゆく。このとき、その悲しみに比例して、体全体の風エネルギーを、その悲しみに集中させるので、その人のアナハタ・チャクラはどんどん大きくなるのである。

しかし、もともと理想的な風エネルギーの働きは、こ

のようなアナハタ・チャクラを含めた七つのチャクラに引っかかり、つまりチャクラを大きくすることなく、上へ上へと上昇し、サハスラー・チャクラから抜けることであるから、この場合は当然アナハタ・チャクラ以上の部位でエネルギーの詰まりを生じさせ、頭痛、吐き気、あるいはヒステリー等の症状が見受けられるようになる。

とはいっても、このチャクラは、上から四番目のチャクラでもあるわけだから、当然いい要素も多く含まれている。例えば、相手の悲しみを理解する力、願望をかなえることのできる力等である。

しかし、本質的には暗い透明なブルーの象徴が、このアナハタ・チャクラの悲哀の意味合いと同義語的に見ることができるので、人生を楽しくおおらかに生きたいと考えるタイプの人にとっては、適当なパートナーとはいえないだろう。

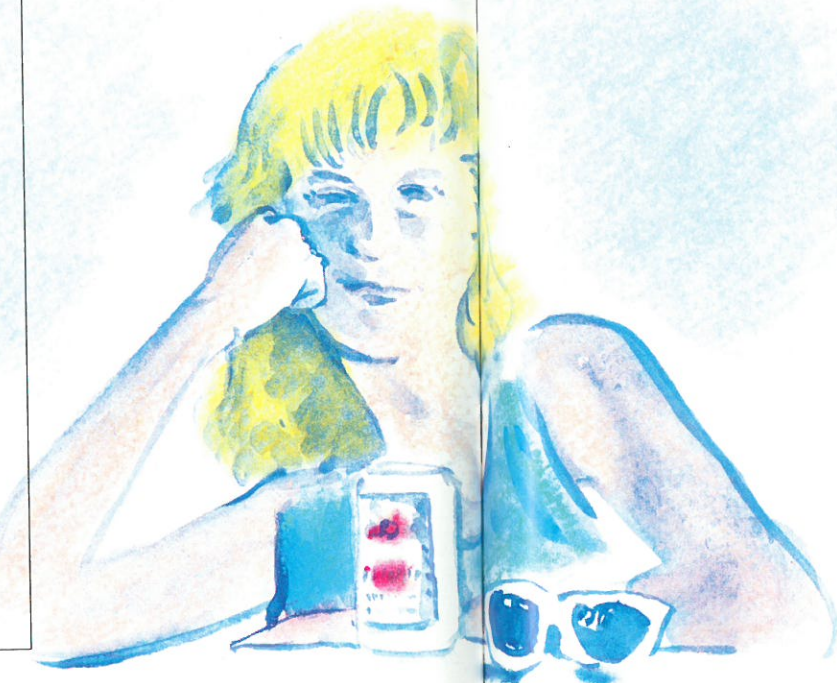
ただし、もしあなたが鶴のカップルのように、あるい



● 暗く濁ったブルー——ズバリ、風トラブル

身体には、七万二千本の管が存在している。この管は、血管や神経系管を含むという説と、そのような管は含まず、すべて風エネルギーの通り道であるという説との二説に分かれているが、わたしは後者、つまり風の流れ道は純粹に七万二千本の通り道を有するという考え方をとっている。

この管が最大にけがれによって詰まると黒く見え、詰



は木に絡みつく蔓のようにお互いに執着し合い、しがみつ き合って生きたいと考えるなら、このタイプの異性は、人生に対する洞察力も深いし、執着も強いし、また裏切ることを嫌うので、最高のパートナーといえることができるだろう。

したがって、人生は楽しみであると考える人にとっては否の相手であり、人生は悲しみと考える人にとっては最高の相手である。

最後に、この色を好む人は、絵画、書道、音楽等の芸術的センスや文才に秀出していることをつけ加えておこう。

まりが少し取れると濃い暗いブルーに見えるのである。
ところで、オウム真理教では五人の成就者が信徒、サ
マナにエンパワーメントを行ってきた。それは、この
わたしと、ウマー・パールヴァティー・アーチャリー正
大師、マハー・ケイマ正大師、ヤソーダラー正大師、マ
イトレーヤ正悟師である。

そのエンパワーメントの後の管の詰まりは、必ず黒を
終点とする。濃い暗いブルーへと徐々に移行していく。
そして、その部位に病を発生させたり、痛み、あるいは
その部位のチャクラのけがれの現象化が起こるのである。
例えば例を挙げるなら、喉が濃い暗いブルーになると、
喉の腫れ、発熱等、あるいは喉の痛みといった肉体的苦
痛が発生したり、喉の右の部位が詰まると悪口を言い、
左の部位が詰まると嘘をつくといったチャクラの働きが
生ずることなどである。

同じように、マニブルー・チャクラが濃い暗いブルー
にけがれると、今まで嫌いで食べられなかったものに対

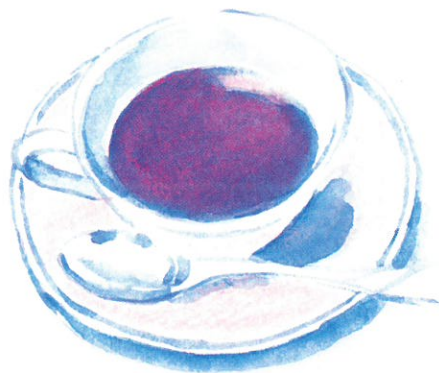
する執着、食欲昂進等、スヴァディスターナ・チャクラ
が同じようにけがれると不特定多数の異性に対する性欲
の発生、ムーラダーラ・チャクラがけがれると嫌悪の増
大、および物質欲の増大等が見受けられる。

つまり、この暗く濁ったブルーは、執着、貪りの象徴
的な色であり、ナーディーの詰まりの色であり、わたし
たちを不幸にする色だといえるだろう。

したがって、この暗く濁ったブルーの衣服を好む人は、
要注意ということになる。つまり、執着が強い代わりに
貪りも強く、りんしょく家で、ルン・トラブルを起こし
やすく、暗い欲望を思念している人ということになる。

では、この色を好む人をあなたが好きになった場合、
どのようにしたらよいだろうか？

もともと、このブルーは、信仰のシンボルカラーであ
るから、あなたの好きなこの色を好む異性に、時間をか
けて真理の法則を根づかせ実践させることにより、色の
好み徐徐々変わって、暗いが透明なブルー、そして光





を放つ透明なブルーを好むように必ず変化するはずである。したがって、この色を好む異性は、あなたの努力次第で幸せになる要素を十分に持っている人といえるだろう。

人と人との出会いは、いろいろなパターンがある。したがって、幸せになる相手を選ぶことも大切だが、今愛している相手をよりよく理解し、真理の流れに導き入れ、幸福にすることは、もっと大切なことである。

藍

エネルギーの解放
それは藍より始まる

DEEP BLUE

いよいよ最後の二色になった。それは藍と紫である。
この二色は人間的要素から解放され、人間以上の生命体
に至りつつあることを表わしている。

●光を放つ透明な藍

この色を好む人は、神秘主義的傾向が強い。また、自
己の拡大欲求、成長欲求が大変強く、大変な努力家で、
コツコツと自己の求めた道を歩く。現象に対する識別眼
も鋭い。

参考までにつけ加えるならば、この色は、長年の激し

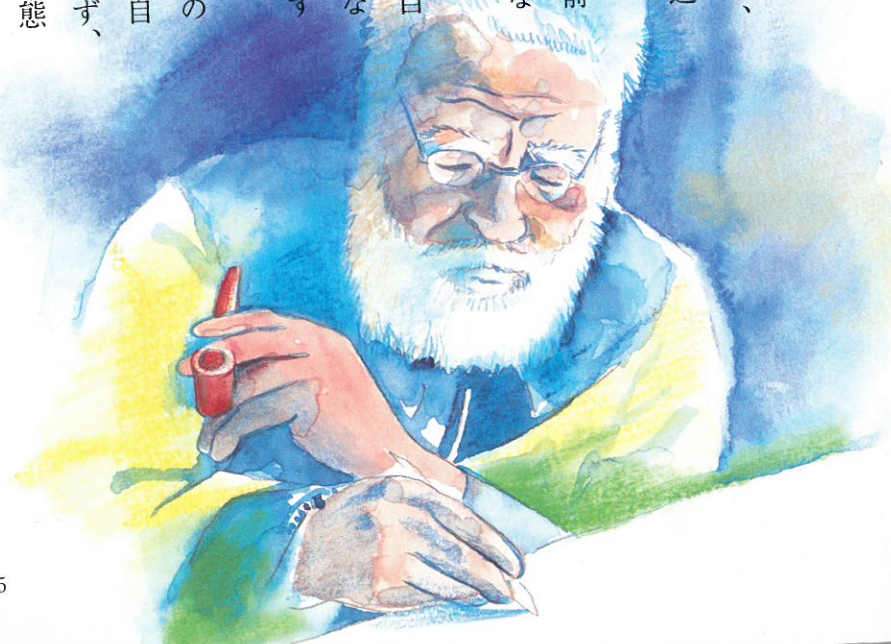
い修行に入った者が、達成の少し前に経験するものであ
る。

前章で説明した青からこの光を放つ透明な藍に入ると、
意識次元の変化が始まり、最終の魔境の状態へと突っ込
んでいく。

修行者は前生から培った観念的傾向や、修行に入る前
の今生の教育や経験、そして、社会環境で培った観念な
どと大いなる対決をしなければならなくなる。

そして、その大いなる対決の最中、今経験している自
己の体験と、今まで培ってきた思い込みとの間に大きな
ギャップを生じ、これ以上にならない不安定な状態を経験す
るのである。

もともと観念や教育で得たこと、経験などは、無数の
間違った見解を有している。したがって、これらの「自
己」と呼んでいたものが、実際は実態に基づいておらず、
幻影であるということに気づくまで、この不安定な状態
は続くのである。これが魔境と呼ばれる状態である。



それはちょうど、日本語だけの通じる日本国内で生活していた人が（この人は外国の存在を知らないと仮定する）、アメリカのニューヨークのマンハッタンのだ真ん中に放り出されたようなものである。

彼は、言語の観念が完全に崩壊し、日本語以外の言語が存在するということを理解するまでは、不安定な状態を続けるだろう。

しかし、言語の真の意味合い、つまり、言葉とは、自己の心を相手に伝達する記号にすぎないのだということに気づいたとき、この人の不安定な要素は消えるのである。

つまり、この藍は、今まで固定されていた観念による幻影を打ち碎き、高次元へと誘う強い光なのである。

ところで、わたしたちは、上位形状界から非形状界へと移行する段階で、この光を経験する。そして、この経験が始まると、断続的に非形状界の世界を垣間見ることになるのである。

話を元に戻そう。この光を放つ透明な藍色を好む人は、神に対する観念的信ではなく、超越的な信を見いだす人である。

この超越的信とは、人間の思考で考えられ得る信という意味ではなく、人間の思考を遥かに超えた信という意味なのである。したがって、現世的なものにあまり価値を見いださず、いんとんせいかつ隠遁生活を好むことも特徴の一つである。

この人の意識は、上方に向かっていているから恋愛を好まない。この人の好みの異性は、お世話してくれる人なのである。つまり、現世の煩わしさを代わって行なってくれる人がこの人の好みなのである。

したがって、このタイプの人に心引かれ、結婚したいという欲望を持ったならば、積極的に相手に近づき、心からお世話をし、その人の身体の一部になるくらいの心構えが必要である。

また、このタイプの人は、内なる世界に大変強い関心を有しているから、一人静かに思索をしているときなど



は、邪魔にならないように、そっとしておいてあげる心配りが必要である。

このタイプの人はもともとエネルギーギッシュであるが、大変疲れやすい傾向を有している。それは上方、つまり高い世界、微細な世界に向かってエネルギーが漏れているからである。

したがって、よっぽど目上の引き立てがない限り、出世は期待できない。

また、自負が強く、そして、激しやすいことも付記しておこう。

●光を放つ濁った藍
けがれた目的を持つ宗教によって生じる色

まず、この色の意味合いについて説明しよう。この色は高度な神秘性に対する欲求と、激しい煩惱に対する欲求を表わしている。

もともと、わたしたちの真我^{しんが}は、すべてのものを認識する力の欠如（非神秘力）によって、経験の構成にとらわれるようになる。

もし、真我が自己の経験を巨視的にとらえることがで



きるのなら、経験そのものが無常であり、苦そのものであることが認識できるはずなのであるが……。

この本をお読みになる方で、仏教的土台の固まっていない方がたくさんいらっしゃるだろうから、「無常」↓「苦」の理論についてご説明しよう。

わたしたちの経験は、極端に大別すると二つのカテゴリーに分けることができる。

第一のパターンは、本質的に喜びの経験である。この本は「色別恋人判定法」というタイトルであるから、恋愛について検証しよう。

例えばあなたが、この「色別恋人判定法」によって、素敵な彼を見つけた。そして、大変素敵な恋愛をし、結婚へと至った。彼は、あなたに対して想像どおりの素敵なパートナーの役、つまり夫の役を演じてくれた。生まれてきた子供たちも、あなたにとって大変優しく、賢い子供たちであった。

そして、あなたが彼よりも先に死ぬとしよう。あなた

はこのとき、どのような思いで死ぬことになるだろうか。当然、夫や子供たちを愛すれば愛するほど、深く強い悲しみにさいなまれるはずである。それは、愛する心が強ければ強いほどそうなる。

しかしである。あなたは瞬間、瞬間の経験をしているときに、つまり夫との戯れや家族の団らんを楽しんでいるときに、これらの楽しみが死別のときの苦しみを増大させていると理解することができようか。当然「否」である。

そして、戯れや団らんの楽しみを純粹に楽しみとして見いだす心を非神秘力といい、その後に来る苦しみまでを瞬時に理解する心を神秘力というのである。

もう一方の極端は、一般社会で仕事も得意ではなく、人生からの逃げ場として結婚生活を選んだ人が、夫と性格が合わず、毎日憎しみ合っている。かといって、別の生活をする勇気がない。このような嫌な人と生活をしなければならぬ苦しみ、これもまた苦の本質である。



そして、この両極のみがこの世の中に存在しているのである。つまり、愛すれば別離の苦しみがある。憎しみ合っても苦しみであるということである。

しかし、この本質に見向きもせず、過去になした経験にとらわれて、わたしたちは流転し続けているのである。そして、これを経験の構成におけるとらわれというのである。

そして、次の段階でわたしたちは識別の段階へと入る。経験の構成の記憶の復活のとき、わたしたちは、当然前例を挙げるならば、第一のパターンをよしとする。つまり、あのような優しい夫、あのような賢い優しい子供……等である。

その心の働きによって、幻影の身体と心の構成要素が形成される。そして喜びを経験するために、幻影の身体に六つの感覚器官が生じる。そして、幻影の身体は幻影の身体において、対象との接触を生じさせる。

対象との接触によって感覚の経験が生じる。感覚の経

験によって、好む、嫌う、好むこともなく嫌うこともないという三つの意識が生じる。

そして、好ましい感覚をより求めるようになる。

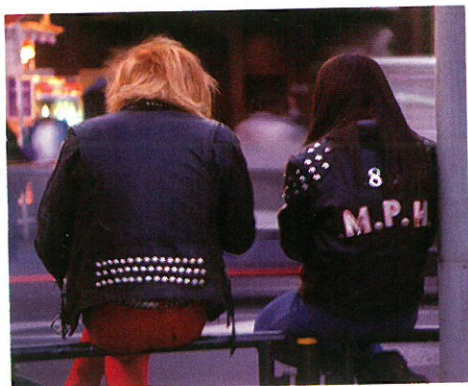
ここでわたしたちは、“求め経験し喜び、求め経験し喜ぶ”ということを繰り返す。そして喜びの対象の存在なしには生存の喜びを見いだせなくなる。これが愛著^{あいじやく}である。

そして、この愛著によって、生存の世界を決定し、輪廻^{ねてんしよ}転生が定まるのである。

この法則を「条件生起の段階」と仏典ではいつている。そして、この法則を理解し、精通すると、欲望の増大が止まり、弱められ、それによって決して濁った色を好むということがなくなるのである。

しかし、完全なる真理の教え以外の宗教を奉じている場合、霊性の向上とともに欲望も増大する。その結果、“光を放つ濁った藍色”になるのである。

この色を好む人の特徴は、①仕事がよくできる ②批



判的、攻撃的 ③閉鎖的 ④神秘的 ⑤感性的 ⑥ダイナミック ⑦わがまま といったような要素を有している。

したがって、この色を好む人に対しては、優しく、根気強く、忍耐してかかるべきである。

また、大変優れた才能を有しており、知的会話を好む傾向にあるから、知的水準を向上させるパートナーとしては最適であるということができる。

●暗い透明な藍——器用貧乏

この暗いが透明な藍は、まさに才能の固まりではあるが、なかなか人に評価されない悲運を表わしている。

つまり、この色を好む人は、大変まじめで才能を有する人であるが、世渡りがヘタで、なかなか出世できない人なのである。

この藍色は、前節でも述べたとおり、人間以上のエネ

ルギー状態を示している。そして、その透明さは、その状態が周りに映し出される要素を表わしている。

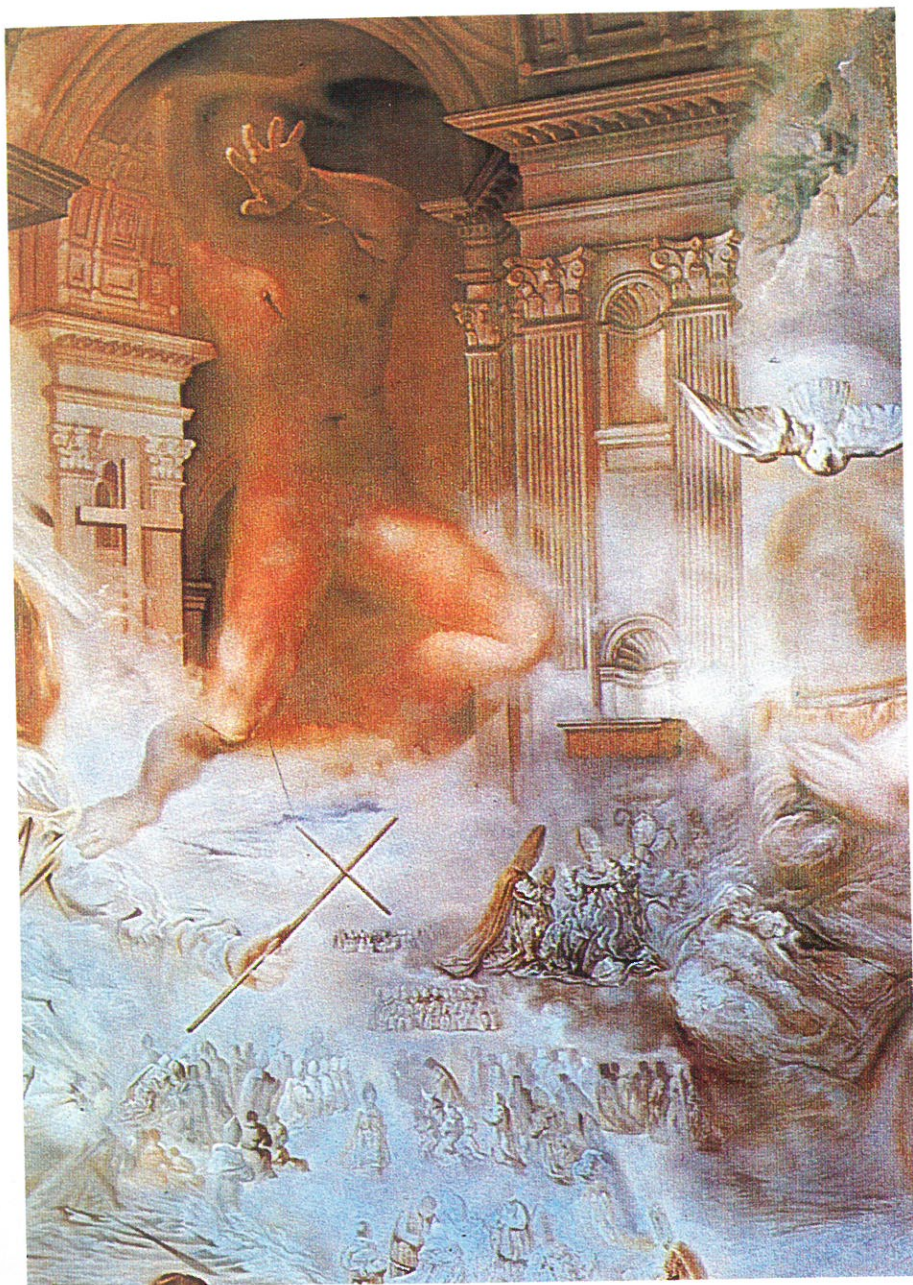
この人間以上の状態とは何を意味するのかというと、人間の能力を超えていることを意味しているのである。したがって、その人の欲求する道を歩くことによって、その道において抜きん出た才能を発揮するということがあるのである。

そして、この才能が世の中に暗く透明な形で映し出されるわけだから、当然、周りが評価しても認められない、引き立てられないのである。

したがって、このタイプの人を恋人として選ぶ場合は、とにかくオウム真理教に入信させ、功德を積ませ、輝きを強めさせるべきなのである。もしそうしないと、一生貧乏な生活を送らなければならない。

ところで、わたしの弟子たちにも、この色のバルドーを発し、また、この色を好む弟子がいる。が、彼らの心は、絶えず不満にさいなまれている。





「わたしは実力があるのに、なぜ認められないのだろうか。」

「あの人は、実力がないのに、なぜ評価され、認められるのだろうか。」

等である。

これらは、すべてこの弟子たちが徳の理論を理解していないからなのである。

人生は偶然ということは決してあり得ない。すべては必然であり、それは条件によって成立しているのである。

●暗く濁った藍——狂人の条件

エネルギーが強く、そしてそのエネルギーの通り道である管が煩惱によって詰まった場合に人は狂う。

わたしたちの心の働きは、「管・風・心滴」の三つの総合作用によって成立する。

管とは身体に張り巡らされている七万二千本のエネルギー

ギーの通り道（気道ともいう）であり、風とは、その気道を前後・左右・上下に流れるエネルギーのことであり、心滴とは、その風によって運ばれる意識のことである。では、なぜエネルギーが強く、管が詰まっている場合に気が狂うのであろうか。

それは、次の四つのパターンを想定してほしい。第一は軽自動車が時速三キロでゆっくりと鉄の壁にぶつかる場合、第二はダンブが時速三キロで同じように鉄の壁にぶつかる場合、第三は、第一のパターンの軽自動車が、時速百二〇キロで鉄の壁にぶつかる場合、第四は、ダンブが時速百二〇キロで鉄の壁にぶつかる場合である。

この四つの場合、鉄の壁は、軽自動車およびダンブの力を吸収しないものとする。また、これらの車は決してつぶれないものとする（＝完全弾性衝突）。

このとき、軽自動車やダンブの受ける力積（衝撃の強さを表わす）は、 2 mV である。

つまり、これからもわかるとおり、速度が大きく、し

かも質量の大きい物体がぶつかったとき、その衝撃力や受けるエネルギーは、甚だ大きくなるのである。

例として軽自動車を五百キロ、ダンブの重さを十トンとする。すると、その力積は次のようになるのである。

第一 $2\text{ mV} \parallel 2 \times 5000 \times 0.83 \parallel 830\text{ Ns}$ （ニュートン秒）

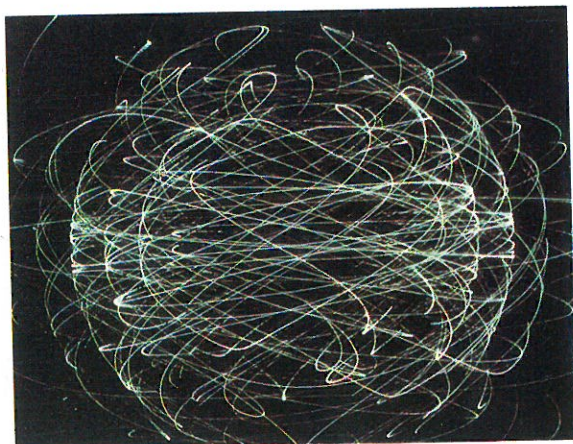
第二 $2\text{ mV} \parallel 2 \times 100000 \times 0.83 \parallel 16600\text{ Ns}$

第三 $2\text{ mV} \parallel 2 \times 500 \times 33.3 \parallel 33300\text{ Ns}$

第四 $2\text{ mV} \parallel 2 \times 100000 \times 33.3 \parallel 666000\text{ Ns}$

（※速さの単位換算のとき、四捨五入しているため、正確に八〇〇倍となっていないが、四捨五入しないと正確に八〇〇倍となる）

この比からもわかるとおり、質量が二〇倍になり速度が四〇倍になることによって、八〇〇倍の衝撃を受けるのである。そして、赤と藍色との速度、および質量の比は、この差ではない（ $E=mc^2$ $E \parallel$ エネルギー、 $m \parallel$



質量 c||光の定数)。

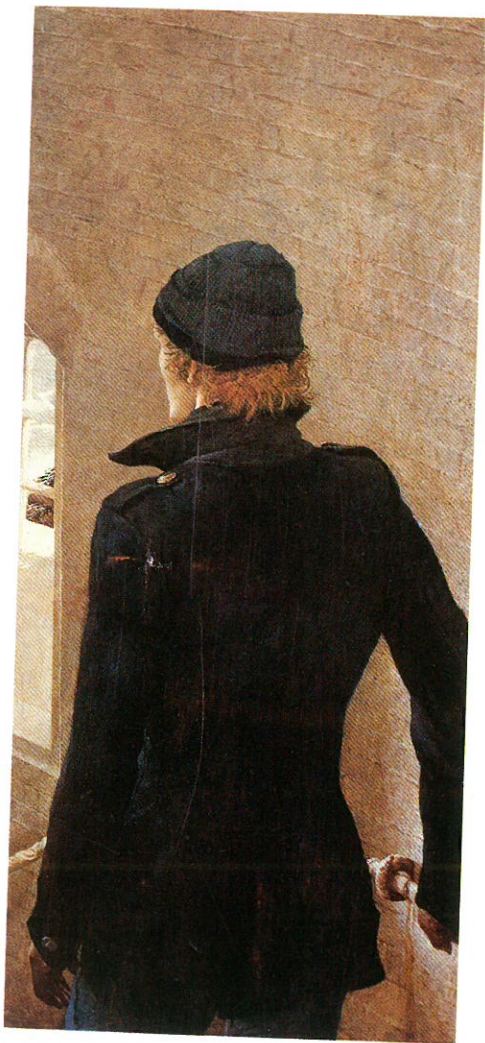
クンダリーニー・ヨーガの修行者はよく気絶するが、実はこの衝撃のためなのである。

ところで、強められた風に乗った意識が、しょっちゅうこのような衝撃を受けるとするならばどうだろうか。当然、精神に異常を来したとしてもおかしくない。激しい恋愛の末の悲恋から気が狂うという例をよく見受けるが、これも同じ理論に基づいている。

元信徒で、このバルドーを有している人がいた。彼は三角関係のもつれの末、木刀を持って恋敵のところへ殴り込み、何発も殴った。その恋敵として木刀で殴られた男性は信徒であり、自己のカルマ落としてであると考える、じっと耐えたそうである(さすがはわたしの弟子である)。が、木刀で殴り込んだ彼は、次の年、めでたく東大に合格したのである。

これはまさにこの色の特徴を物語っている。つまり狂気性、活動力、知性の三つである。

したがって、この色を好む相手との結婚は、よっぽど体力に自信があるか、従順な性格の人のみ可能なのである。



紫

紫は神秘性

PURPLE

いよいよ最高のエネルギーを表わす色である紫である。運命学に奇門遁甲きもんとんこうというものがある。この中に九気というものがあり、これは一白、二黒、三碧、四緑、五黄、六白、七赤、八白、九紫というふうに分類されている。この定位盤（その象徴が「気が」本来座するところであり、その特徴を最も表わすところである）の中央真上に九紫が存在しており、この九紫は一から始まり二ケタに至るまでの最高位である九と、色の中で最も高いエネルギーを出す紫とを併せ持った象徴である。

そして、この九紫の意味合いとして、「真理勝者」とか「覚者かくしや」があるのである。これはとりもなおさず、こ

二黒	九紫	四緑
七赤	五黄	三碧
六白	一白	八白

の紫が、高貴な色として取り扱われたことを意味しているのである。

●光を放つ透明な紫——王者の色

この色を好む人は、希望、勇気、発展性、行動力、直感力、スケールの大きさ——何一つとつても申し分のない人物になる可能性のある人である。

ここで可能性とっているのは、好むということが、この色を志向しているにすぎないからである。したがって、もしこの色のバルドーを有している人がいたなら、その魂は自動的に世界の王として君臨することは間違いないであろう。

ところで、わたしは小さいころから、この色が最も好きであった。そして、この色を志向し修行を続けている。なぜならば、この色は、アカニシタ天、オウム真理教の訳語では超越童子天ちようえつどうじてんの色であり、光であり、この色と光



を超えない限り、未来際においてマイトレイヤとして最終の生を送ることができないからである。

また、このバルドーの光を発することのできる人は、十億宇宙においてただ一人であるといわれている。そのただ一人というのは世尊^{せそん}であり、真理勝者を意味しているわけで、今の地球には存在していない。

この色を含むこれ以上のエネルギーと色や光の關係について触れておくならば、青紫→赤紫→X線→γ線の順にエネルギーが高くなる。つまり、人間の眼に見えるものとしては、赤紫が最高ということになる。

この光を放つ透明な紫を好む人があなたの恋人であったなら、この人に対しては否定的な言葉を言わないで、ひたすら励ますべきである。その励ましこそが彼を偉大な人へと成長させることとなる。

●光を放つ濁った紫——まさにヤクザ

この光を放つ濁った紫色を好む人は、権力、名誉、地位といったものに対する欲求が強い。しかも、正当な手段を好まない傾向がある。

よくヤクザを職業としている人がこの色を好むのは、二つの理由からである。第一は最も強い者に対するあこがれを表わす紫と、煩惱の象徴である黒が合わさっているからである。

また、この色を好む人とおつきあいする場合、活動的で気前がよく、あっさりしているがムラ気で暴力的であるという特徴を持つ。したがって、遊びの相手としては、表面的には大変楽しい相手だが、真剣な結婚生活や家庭生活を営む相手としては不適當と思われる。したがって、このタイプと結婚する場合には、徹底的に無常を教え込むべきである。それによって彼の性格的傾向は変わるだろう。



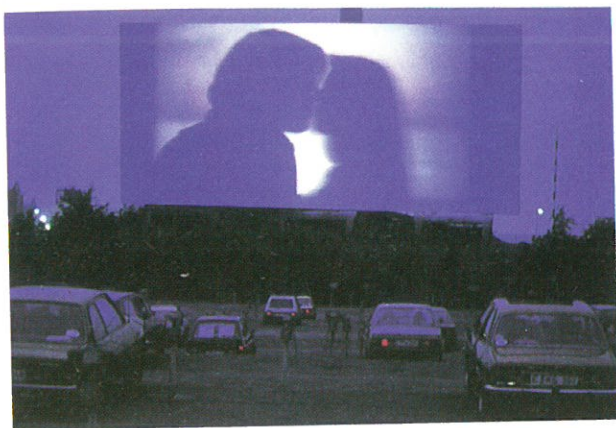
●暗い透明な紫

この色を好む人は、真面目で名誉を好み、大変親切である。そして、あまりハデなことを好まず、人生の目的を一つの作品を作り上げるような感じにとらえている。また、権力や地位においてもトップになることを好まず、二番手や三番手を好むものである。内的性格としては、もの静かで、理知的ではあるが、冷たさを含んでいる。したがって、自己の立場より会社や組織の立場をとり、必要だったら妻との離婚もやむなし、という態度をとる。つまり、参謀タイプなのである。

したがって、このタイプは自分の仕える大将に巡り合うことができたなら、大いに出世し発展するだろうし、

そうでない場合はあまり陽の目を見ないのである。

このタイプの人は、ある程度自己を確立しているので、恋人とする場合、彼の生き方を認め、邪魔にならないよ



うに絶えず気を使う必要がある。それによつてのみうまくいく相手なのである。

●暗く濁つた紫——まさに魔境

この暗くて濁つた紫を好む人は、まさに魔境である。つまり、煩惱と現世的な貪り、例えば、権力、名誉、地位、財産など、ありとあらゆるものを意味しており、その欲求がこの色で表わされているのである。

したがって、この色を好む人は、それらの要素を内在している人と考えなくてはならない。

すなわち、言うことがコロコロ変わり、仕事もコロコロと変わり、もともと仕事というものが好きではない。そして夢想家であり、一獲千金を夢見るのである。ゆえに、この色を好む人との恋愛は避けた方がいいし、つきあえばつきあうほど、あなたの人生は悲惨な状態となるだろう。

最後に――。

この『色別恋人判定法』は、わたしの長年にわたる人生相談の経験（のべ数万人の）と神通力による透視によって得た経験を基に書かれたものである。したがってデータに対しては、信頼性が非常に高いのであるが、これを読んで使いこなすあなたの方のセンスによって、この本の本当の価値が生じるものと考えている。

なぜならば、一つの色をとったとして、その色が光輝いているか濁っているか、透明であるか暗いかという四つの選択は、なかなか難しいところがあるからである。

つまり、微妙なところの判定が、経験の少ない方々にとってはしにくく、そこで狂いの出てくる可能性が大きいということである。

わたし自身が、その場に立ち会うことができないのは大変残念である。

それはそうとして、この本が大変有用なものになるこ

とを確信してペンを置く。

一九九二年四月十五日早朝

シヴァ大神とすべての真理勝者方のしもべ記す。

麻原彰晃



★ 麻原尊師が贈るオウ

エウアゲリオン・

話題の有名人との対談、
心を揺さぶる説法……。
あなたの知らない麻原尊師と
オウム真理教の魅力がいっぱい。

あゝの麻原尊師の聲が
あなたの耳を直撃！

★ ム真理教ラジオ番組

テス・バシレイアス



- 中波(AM) 720kHz 毎日23時から24時まで
 - 短波 15.315MHz 毎日22時から23時まで
- ★

麻原尊師のラジオ番組
「エウアゲリオン・テス・バシレイアス」が
100倍楽しめるタイアップマガジン

月刊「えんじょい・はぴねす」

楽しいはずの人生なのに、
空しさを感じるのはなぜ？
生活だけでなく、“心”も豊か
になりたいから……
すべての苦しみと悲しみに別れを
告げたいから……

だから今日から“えんじょい・はぴねす”



「幸せになりたい！でも、信徒になるのはちょっと……
そんなあなたに贈る最高のプレゼント！」

『えんじょい・はびねず』の定期購読を申し込まれた方は、様々な特典が受けられる“EH会員”になることができます。EH会員は信徒ではありませんが、自由にオウム真理教のイベントに参加できますし、全国や海外の本部・支部をいつでも利用できます。お気軽にオウム真理教をのぞいてみませんか？

特典の一部を紹介すると……

- オウム真理教主宰のイベント、説法会等へ自由に参加可。
- 幸福情報を満載したEH会員手帳をもれなくプレゼント！
- 成就者との対面および電話による悩み相談。
- 各種販売物を信徒価格で購入可。

"えんじょい・はびねすの会" 会員(EH会員)になるには？

※入会金無料。月刊『えんじょい・はぴねす』の定期購読を申し込み、料金の払い込みが確認されるとEH会員となります。

なお、定期購読の申し込みは6カ月単位で郵送料込み6000円です。

※詳しくはお近くのオウム真理教本部・支部までお問い合わせください。

オウム真理教



最高の智慧、神をも超えた力……
最終解脱者があなたを変える！

その修行ステージの高さゆえ、
イエシュ——完全なる絶対なる神の叡智”
とチベット仏教の高僧より称えられる
麻原彰晃尊師。
最高の智慧と神通力を有した
日本でただ一人の最終解脱者です。
その麻原尊師が、
あなたに贈る幸福へのプログラム。
病から解放された……
最高の幸福を得た……
解脱と悟りを得、神通力を
ほしいままにした……
こんなあなたの願いを、
麻原尊師が仏教・ヨーガ・密教の
あらゆる秘儀を駆使して、
速やかにそして確実にかなえます。

※資料請求券を貼付したハガキ、または電話にて
最寄りの本・支部までご連絡ください。入信案内
等、詳しい資料をお送りします。



オウムについてもっと詳しく知りたい……
教義その他について、いろいろと聞きたいことがある……
オウムの人たちの生の声を聞いてみたい……
そんなあなたに最適な情報ネットワーク

好評！あなたとオウムをつなぐ パソコン通信、 “オウム真理教ネット”

面倒くさい手続きはいつさいありません。オウムに興味をお持ちの方、聞いてみたいことがある方は、今すぐお気軽にご利用ください。

“オウム真理教ネット”のご紹介

TEL番号	03-5370-1726
通信速度	1200/2400bps
通信条件	BITS-8 PARITY-NONE STOP-1
プロトコル	X-MODEM Y-MODEM(-G)
ゲストID	GUEST
運用時間	24時間
入会方法	ゲストログイン後、 SYSOPあてメールにて申請

●なお、その他詳細は下記までお問い合わせください。

〒168 東京都杉並区宮前3-8-11
“オウム真理教ネット”事務局
TEL 03-3335-4965

◆各道場のご案内◆

富士山総本部 0544(54)1267
〒418-01 静岡県富士宮市人穴381-1
東京本部 03(3327)8565
〒156 東京都世田谷区赤堤2-42-5 杉田村松ビル1F
新東京本部(杉並道場) 03(3396)9393
〒167 東京都杉並区下井草4-4-4 井口ビル2F
大阪支部 06(397)1022
〒532 大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-14 八光ビル2F
福岡支部 092(474)2877
〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前2-6-15 第一渡部ビル6F
名古屋支部 052(252)0709
〒460 愛知県名古屋市中区栄5-8-14 万国ビル3F
札幌支部 011(241)4938
〒060 北海道札幌市中央区北2条西2丁目19-1 チサンホテル本館2F
京都支部 075(371)3759
〒600 京都府京都市下京区堀川通り松原上ル五軒町384 松本ビル2F
仙台支部 022(268)3904
〒982 宮城県仙台市若林区河原町1-4-20 十全会ビル2F
金沢支部 0762(51)8457
〒920 石川県金沢市京町25-20 ソフトオフィスビル2+4 2F
高知支部 0888(84)8286
〒780 高知県高知市はりまや町2-8-8 安藤ビル2F
広島支部 082(264)6250
〒732 広島県広島市南区西蟹屋4-4-18 和田ビル3F
横浜支部 045(243)8079
〒231 神奈川県横浜市中区若葉町3-41-2 コスモ伊勢佐木長者町ビル204
和歌山支部 0734(24)2859
〒640 和歌山県和歌山市駿河町42 和歌山酒販会館2F
水戸支部 0292(26)8044
〒310 茨城県水戸市中央2-2-1 HDビル6F
船橋支部 0474(66)4965
〒274 千葉県船橋市新高根6-26-18
那覇支部 098(869)7707
〒902 沖縄県那覇市安里2-4-12 嘉数グラビアハイツ5F
深谷出張所 0485(74)6205
〒366 埼玉県深谷市萱場441-8
渋谷出張所 03(3476)5065
〒150 東京都渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂317号
(海外支部)
ニューヨーク支部 212(421)3687
8 East 48th St. #2E (2nd Floor), New York, N.Y. 10017 U.S.A.
ボン支部 (0228)616647
Auf dem Hügel 48, Enderich, 5300 Bonn 1, S.R.Germany
スリランカ支部 (AUM SACCA SANGHA ASSOCIATION)
Sorahena, Watta, Anglugaha, Galle, Shri Lanka

色別恋人判定法

1992年6月1日 初版発行
定価1500円(本体1456円)
著者 麻原彰晃
発行者 松本知子
石井久子
編集 オウム出版広報編集部
発行所 株式会社オウム
〒154 東京都世田谷区世田谷2-8-17
電話 03(3439)6043 振替 東京2-109325

© Shoko Asahara 1992
ISBN4-87142-043-4 C0014 P1500E